



# “学びの森”だより



明けましておめでとうございます。2020年はオリンピックが開催されます。市内でも自転車競技が開催され、子供たちにとって、思い出深い1年になりそうです。年頭に当たって学校教育課 荒井賢二課長よりごあいさつをいただきました。

## 授業の中の子どもたち

明けましておめでとうございます。令和2年が、皆様にとって、そして子どもたちにとって、素敵な1年になることを願っています。



さて、今回、学びの森だよりの紙面でご挨拶を述べさせていただいていますが、皆さんは学びの森のホームページをご覧になったことがありますか。ここには、学びの森や学校教育課主催の研修の様子が掲載されていますが、研修をした本人は知っている内容ですし、保護者の方が見ることも少ないのかもしれませんが。私は、このホームページで紹介される子どもたちの様子を見る度に、思い出すものがあります。個人的な話で恐縮ですが、それは私が教育実習を行っていた頃に読んだ「林竹二・授業の中の子どもたち」という写真と文章で成り立っている本です。それは、宮城教育大学の学長だった林氏が、全国の小学校で、飛び込み授業を行った記録ですが、こんなことが書かれています。

・本当は子どもが何を感じ、何を思っているのかが問題で、ことば自体が問題なのではない。ことばになろうとなるまいと子どもの中に何かうごいている。それが何であるかをしょっちゅう追求していなければ、授業は授業にならないんです。

学生だった当時の私は、子どもたちの写真を眺めながら、まだわからない授業の魅力や深淵に触れた気でした。子どもたちが真剣に考えている顔は、何かに引き込まれているような美しさがあります。いつかこんな授業をしたいものだ、本を読みながら心に思った記憶があります。

そんな子どもたちの表情が、学びの森のホームページにはいくつも見られます。どんな授業をしていたのでしょうか……子どもたちが深く考え込む様子や、ぱっと明るい表情で何かを思いついた表情もあります。授業者の先生は気づいているかはわかりませんが、切り取られた一瞬の表情に引きつけられます。

そして、かつて私が読んでいた本の写真と異なるのは、子どもたち同士のかかわり合いの中で、そんな表情をしているのです。向き合った子どもたちの写真から、子どもたちの会話が聞こえてきそうです。何を話しているのだろう、そんなことを想像しながら写真を眺めるのも、また楽しいものです。

今年は、新学習指導要領の完全実施をはじめ、やることの多い年です。それはそれで大事ですが、子どもが学びの主役であることはもっと大切です。先生が言葉を発する前に、また発した後に、子どもの表情を見てください。目の前のその子どもは、いま何を考えているでしょう。先生の言葉は、その子に届いていますか？ どんなふうに届いていますか？ 予想どおり？ ……そんなことを思いながら、授業づくりを真剣に、悩みながらも楽しんでほしいと思っています。今年もどうか子どもたちのために、よろしく願いいたします。

学校教育課 荒井 賢二



## 市2年次研修会

11月、小学校教員6名が西中学校で、中学校教員6名が南小学校で、異校種での一日の生活を体験しました。研修を通して、子供や、先生方の姿から感じたこと、学んだことについての感想を一部紹介します。



### <小学校教員>

- ・「学校は楽しい場所」だという意識づくりは、小・中どちらでも変わらないと感じた。
- ・生活面では、小学校での基礎作りが大切だと感じた。
- ・事後研修の中で、対話について考えた時に、人対人のことしか頭になかったが、教材や自分との対話も深い学びに繋がると知り、そういった見方もできるのだと勉強になった。
- ・(小学生の頃関わりのあった子について)立派に成長している姿に感動した。これまでの義務教育の中で、様々な先生や友達との関わり、積み重ねがあって、今の姿があるのだと思うと、今のこの関わり一瞬一瞬を大切にしていかなければ、と改めて感じた。授業にも力を入れていくために、教材研究や勉強会に足を運ぶ等、自ら学んでいかなければならないと思った。その時間を作り出すために、日々の仕事を上手にやりこなすスキルを身に付けたいと思う。

### <中学校教員>

- ・板書の綺麗さ、指示の言葉遣い、工夫、小学校で6年間味わってきた丁寧さを、中学校でなくしてしまっただけではいけないと思う。中1ギャップを大きくする一因に教師がなってはいけないと思った。
- ・先生方の言葉がけの丁寧さを自分の教育活動にも取り入れていきたいと思った。また、板書についても考えさせられた。板書の目的を考え、視覚的にも見やすいものをつくっていききたいと思う。“叱る”を“考えさせる”に変えて、モチベーションの高い子供を育てていきたいと感じた。自分で考えて、行動する、そんな人間を育成していこうと思う。
- ・休み時間や、何気ない時間に、子供たちと同じ時間を過ごす大切さに改めて気づかされた。また、教室整備がきちんとして、気持ちも整う気がしたので、中学校でも実践したい。
- ・小学生のパワーや素直さを改めて実感した1日だった。学びたいという意欲を持った子供たちのキラキラした目が印象的だった。自分の授業の中でも、子供たちの意欲を駆り立てるような発問を考えていかなければならないと思った。丁寧で温かい指導を私も意識して、生徒たちと接していきたいと思う。現在中学1年生の担任をしているので、小中連携への関心がますます高まった。

子供たちの成長過程を実感する、良い機会になったようです。今年度の2年目教員の研修会は今回をもって終了します。これからも、子供たちが小・中の垣根を感じることなく、楽しい学校生活を送れるように、小・中それぞれの教員が連携していきましょう。

## 第2回 「夜カフェ」参加募集のお知らせ

日時：1月31日(金) 18:15~19:30

場所：裾野市役所 地下「多目的ホール」

内容：◆「参事のおやつ番外編 OOから学ぶ」

(羽田稔彦 参事)

◆「大相撲の楽しみ方」

(亀 壮晴 教育主査)

申込みは、このままFAX(055-995-4904)で、学びの森まで送信してください。

申込み締め切り：1月16日(木)



学校名	氏名	学校名	氏名

今年度、残り2回の開催が決まりましたので、お知らせします。

◇第3回 2/13(木) 紅茶の楽しみ方(仮題) ※定員・参加費有り

(生涯学習センター)

◇第4回 3/6(金) マジックショー、海外との中継

(東小学校 体育館)

第3回の申込書は、「学びの森だより第14号」に掲載します。

お楽しみに♪



編集・発行：“学びの森”

〒410-1102

裾野市深良 435 番地

TEL：055-995-4903

FAX：055-995-4904